

**令和7年度
さかいこども食堂ネットワーク
アンケート報告書**

令和7年9月

社会福祉法人 堺市社会福祉協議会
さかいこども食堂ネットワーク事務局

【実施概要】

対象	さかいこども食堂ネットワーク加盟団体 (令和7年7月7日時点：113団体)
回答数	105件 (回収率 92.9%)
実施期間	令和7年7月8日～7月17日
方法	さかいこども食堂ネットワークの一斉メールを通じて、Web上のフォームへの回答を依頼しました。なお、本調査は令和7年度こども食堂応援プロジェクトによる、活動支援のためのプリペイドカードの配分の申込とあわせて実施しました。

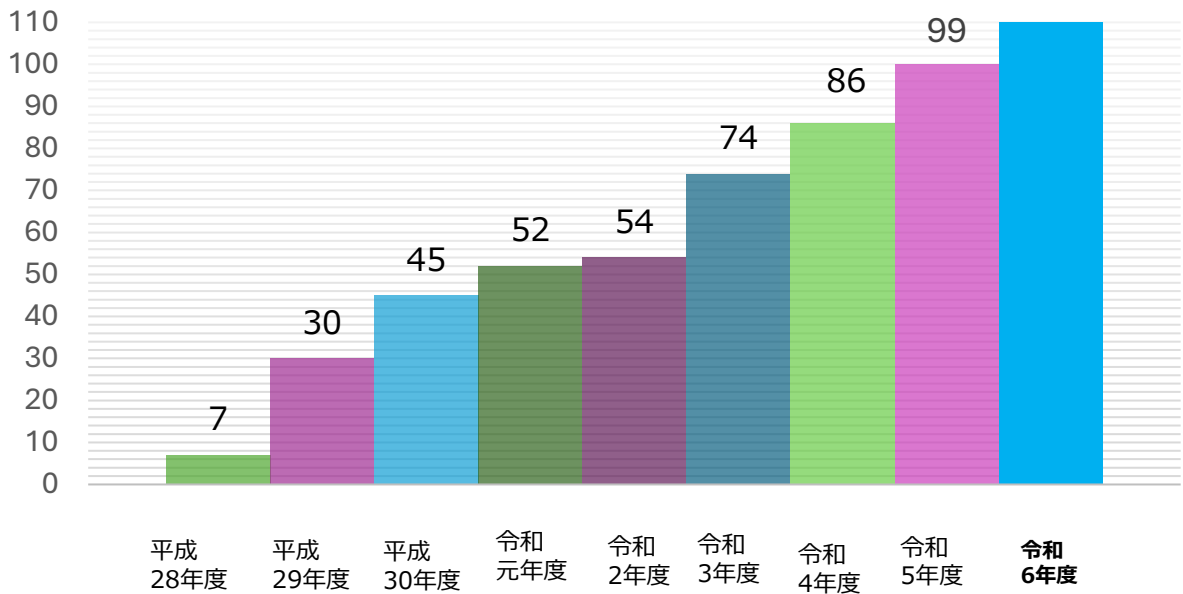
第1章

さかいのこども食堂について

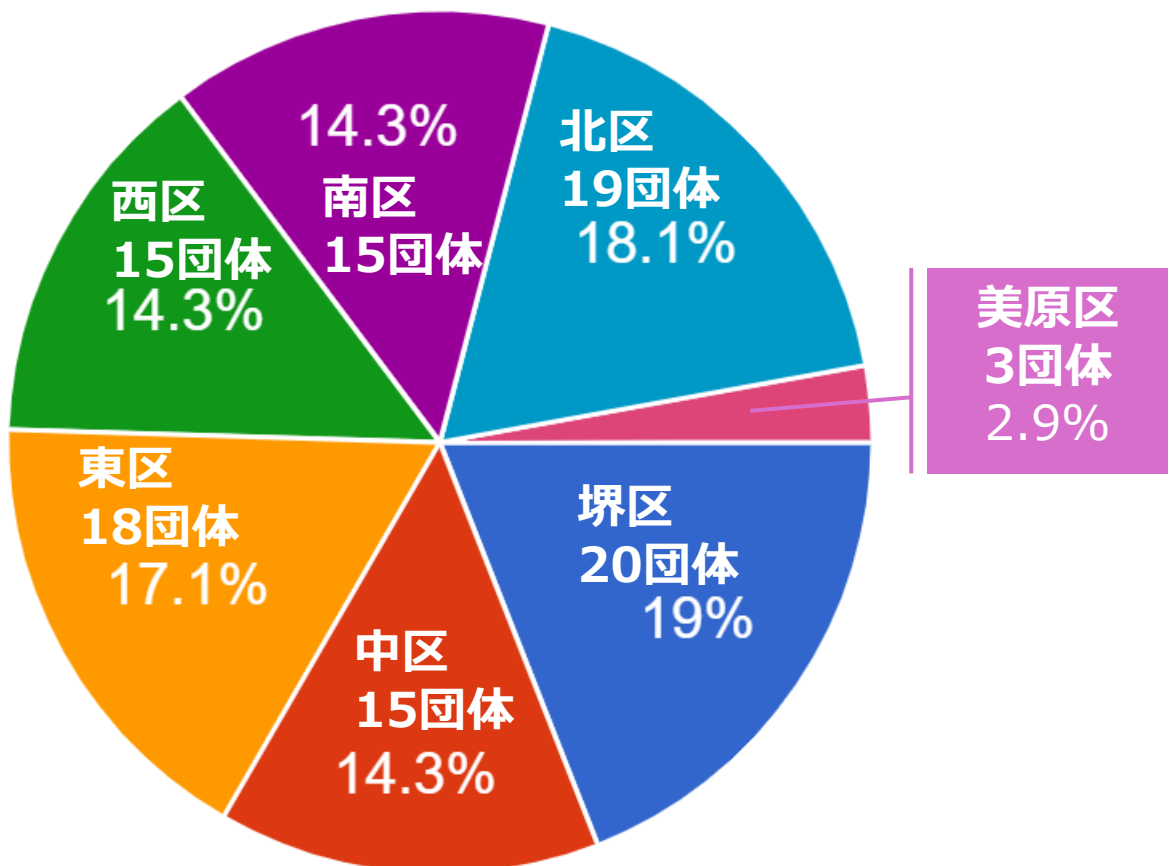
<参考> さかいこども食堂ネットワークの加盟団体数の推移

さかいこども食堂ネットワーク年度別加盟団体数

(各年度末時点)

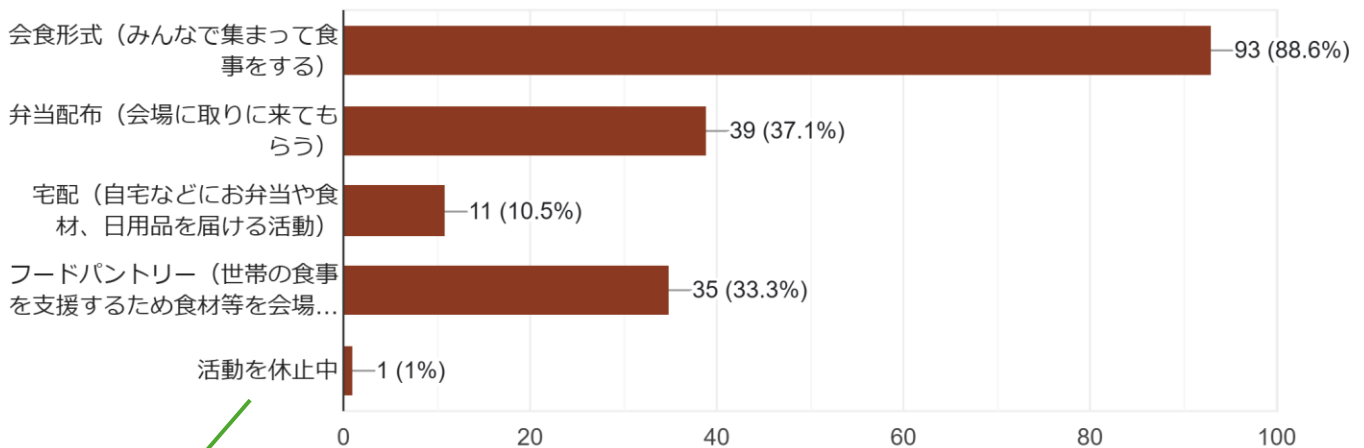


◆今回のアンケートで回答があった105団体の内訳



開催形式（複数回答可）

105件の回答



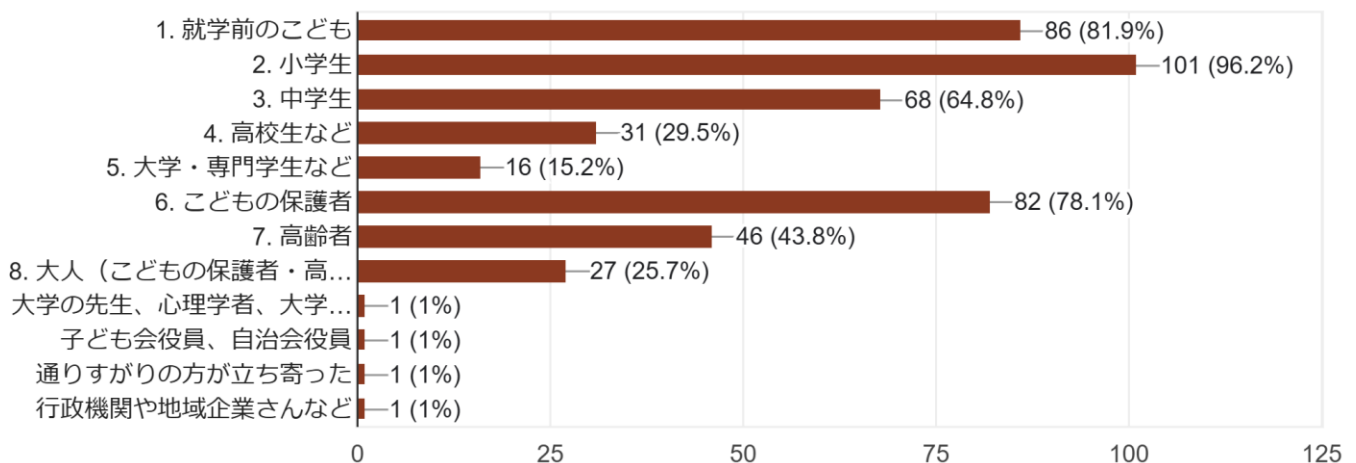
会場である飲食店が営業できなくなったため。

開催形式については、「会食（みんなで集まって食事をする）」と回答したことも食堂が88.6%で、最も多いです。

コロナ禍に、弁当配布という活動で子ども食堂を立ち上げ、現在は会食形式に切り替えて活動を継続している子ども食堂も多くあります。

どのような人が子ども食堂へ来ていますか【複数回答可】

105件の回答



小学生が96.2%と最も多く、就学前の子どもから中高生も多く参加しています。高齢者（43.8%）や保護者（78.1%）など大人の割合も多く、子ども食堂が子どもだけではなく、幅広い世代の交流拠点になっていることがわかります。

お金や食材だけじゃない?! こども食堂への応援!

活動資金や食材は、もちろんこども食堂を継続するために必要な応援ですが、実はこんなことも、こども食堂への応援になります!

活動場所

安全で安心できる食事の場を提供するためには、活動場所を安定的に確保することがとても大切です!

なぜ場所の確保が必要なの?

① 食事を提供するための物理的なスペースが必要

調理・配膳・食事・片付けなどを行うには、机や椅子、キッチン設備などが必要です。こどもたちが安心して過ごせる空間が求められます。

② 衛生・安全管理のため

清潔で安全な環境が必要です。また、火気や刃物を使う調理では、事故防止のための管理が重要です。

③ 地域の居場所づくりとしての役割

こども食堂は「食事の提供」だけでなく、「居場所づくり」「地域の交流の場」としての役割もあります。

参加している人にとって、居心地の良い居場所になることが望ましいです。

④ 継続的な運営のため

毎回違う場所では、準備や告知が大変になるため、安定した開催場所があると運営がスムーズになります。

広報、啓発の協力

こども食堂のチラシ配布やポスターを掲示することで、認知度アップに貢献することができます!

また、SNSをシェアして活動を広めることで、こども食堂の「わ」がますます広がります。

ボランティアとして参加

調理、配膳やこどもの遊び相手、学習支援などボランティアスタッフとして多くの方が活躍しています!

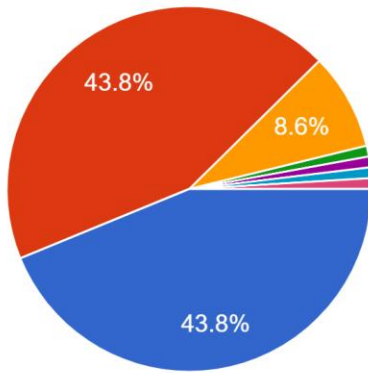
💡 こども食堂には「食事の提供」だけでなく、「居場所づくり」「地域とのつながり」など、多面的な価値があります。少しの関わりであっても、みなさんの応援が、こども食堂にとっての大きな支えになります。

応援の形は1つではありません! ✨

ここに掲載している応援以外のことでも、「こども食堂を応援したい!」という気持ちがある方はぜひ、堺市社会福祉協議会のさかいこども食堂ネットワーク事務局にご相談ください!

食材の提供は活動に対して足りていますか

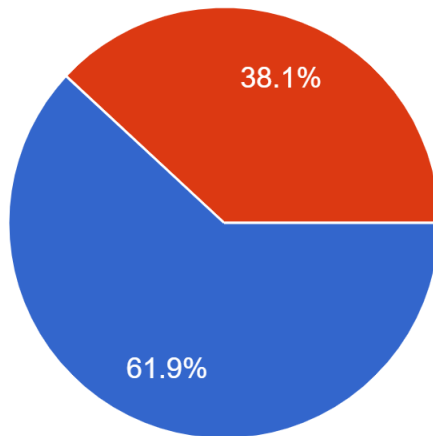
105 件の回答



- 足りている
- 不足している
- 食材の提供は受けていない
- 対応するイベントの内容によっては不足している
- 希望するものがいただけるとは限らないので難しい
- その月による
- 助成の提供で食材を補っている

食材の提供について、希望することはありますか

105 件の回答



- ある
- ない

希望する食材の提供内容

	カテゴリ	5	乾物・保存食
1	米	6	冷凍食品
2	肉類	7	レトルト・缶詰
3	野菜・果物	8	お菓子・アイス
4	調味料	9	飲料

昨今の米不足の影響もあり、「米」の寄附を希望するこども食堂が多いです。また、調理に欠かすことのできない肉類や野菜・果物など生鮮食品の寄附を望んでいることがわかります。

堺市社会福祉協議会では、「**もったいないをありがとうに**」を合言葉に、フードドライブを実施しています！

フードドライブとは、未使用・未開封の食品を持ち寄り、必要とする人や団体に寄附をする取組です。

集まった食材は、こども食堂をはじめ、必要としている方々のために活用します♪

【実施場所】 堺市総合福祉会館 1階

【実施時間】 平日 9:00～17:00

【対象食材】

賞味期限が記載されていて期限が1か月以上あるもの

未開封で包装や外装が破れていないもの

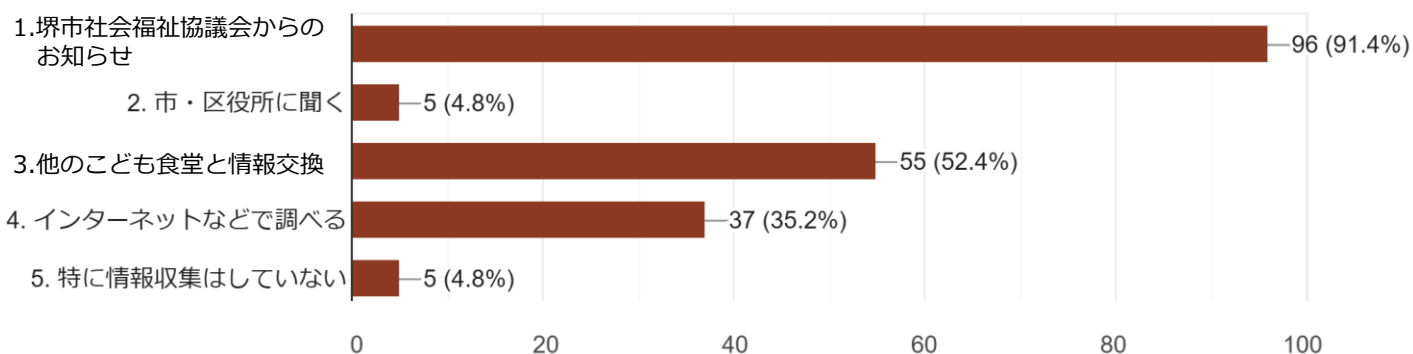
常温保存のもの

※賞味期限の記載がないのもの（米・砂糖など賞味期限がないものを除く）、賞味期限が1か月未満のもの、生鮮食品、冷凍食品、アルコール飲料などは受付できません。



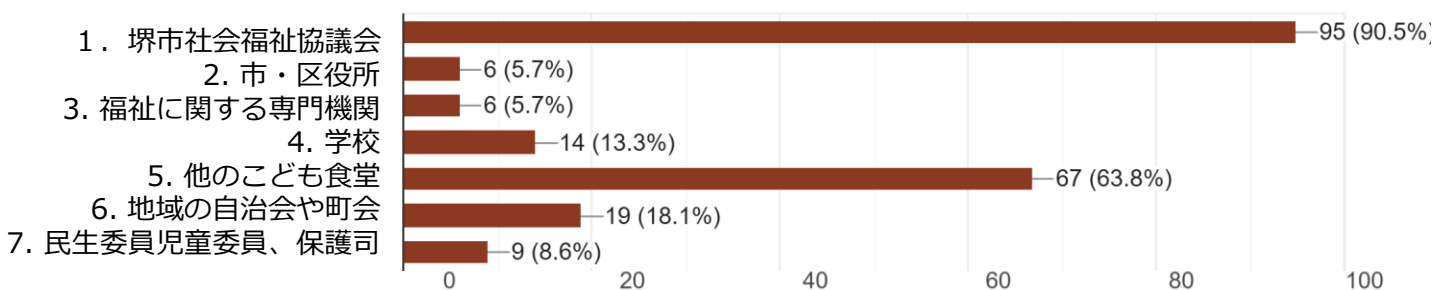
こども食堂に関する情報収集は、どのように行っていますか【複数回答可】

105件の回答



こども食堂について気軽に相談できる場所はありますか【複数回答可】

105件の回答



「こども食堂に関する情報収集」や「気軽に相談できる先」として、90%以上のこども食堂が【堺市社会福祉協議会】と回答しています。

このアンケートの結果から、堺市社会福祉協議会（さかいこども食堂ネットワーク事務局）が、堺市内のこども食堂にとって、大きな役割を果たしていることがわかりました。

今後も、こども食堂の活動のサポートを行っていきます。

また、こども食堂の活動者だけではなく、こども食堂を始めたい人やこども食堂を応援したい人などからも相談先としても、支援を継続していきます。

こども食堂で課題だと 感じていることは？

【食材・物資の確保】

- 食材の高騰、物価高による食材費の確保
- 安全・安心な食材の寄附が少ない
- 備品や調理器具の購入が困難
- 備品の修理費用がない
- 食品保管場所や冷蔵庫の不足

【財源・資金の課題】

- 助成金頼りで不安定、自主財源の必要性
- 活動資金（食材費など）の不足
- 寄附金が尽きた場合の不安
- 会場費、運搬費（ガソリン代・駐車場代）の負担

【スタッフ・ボランティアの課題】

- スタッフの高齢化
- ボランティアスタッフの確保が難しい
- 学生ボランティアとの継続的なつながりがない
- スタッフの調整が難しい（属人的になりがち）

【参加者へのアプローチ・周知】

- 本当に必要なこどもに届いているか不安
- 孤食・不登校児・困窮世帯へのアプローチが難しい
- 地域に知られていない、周知不足
- こども食堂のイメージ（貧困家庭へこどもが来ている等）を払拭したい

【活動内容・質の向上】

- お弁当配布から会食形式への移行
- 食育を推進したい
- 栄養価の高い手作り料理の提供
- こども・保護者などへの対応方法

【運営体制・継続性】

- 活動回数の増加に伴うスタッフ・資金の確保
- 継続的な運営のための地域協力が必要
- イベント準備の属人化、負担感
- 合意形成に必要なスキル不足

【学校との連携・理解】

- 学校側ともっと情報交換をしたい
- 個人情報との壁で連携が難しい
- 学校での啓発ができればうれしい

【場所・設備の課題】

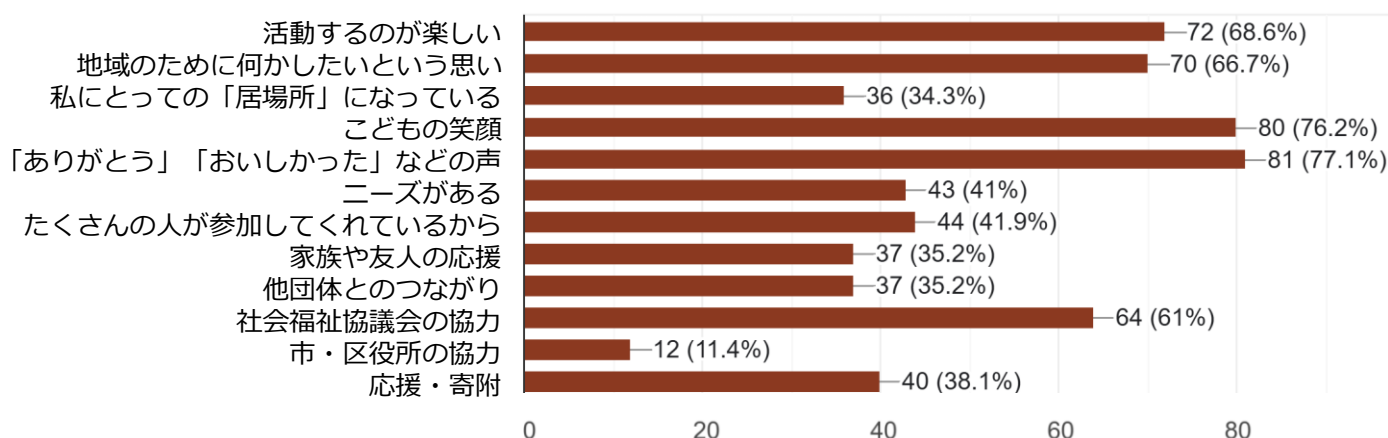
- 活動場所が手狭、空調設備の不備
- 地域会館の利用制限
- 物品の保管・運搬の負担

「物価高による活動費の高騰」が最も多く、「財源の確保」、「食材の確保」と続きます。活動を継続・展開するにあたり、「金銭面」「食材」については、活動規模や継続年数に関わらず、多くのこども食堂にとって課題となっています。

多くのこども食堂は「誰でも来やすい場所」として開かれているからこそ、様々な家庭環境のこどもが参加することができます。活動が「本当に必要な子ども」に届いているかどうかは、すぐに見えるものではないかもしれません。しかし、こども食堂という場所があることで、地域に顔見知りの大人が増え、「ひとりじゃない」と感じる、そんな小さな、でも大切な経験が、こどもたちの心に残っていくはずです。

こども食堂を続けられている理由はどのようなことだと思いますか【複数回答可】

105件の回答



続けることができる理由として、「参加者からのありがとう・おいしかったという声」(76.2%)や「こどもの笑顔」(77.1%)が最も多く、「活動するのが楽しい」(68.6%)や「地域のために何かしたい」(66.7%)が続きます。こども食堂は、活動者自身の**自発的な思いから始まる活動**だからこそ、大きな広がりを見せていることがうかがえます。

さかいのこども食堂が今後の活動で
やってみたいこと！

- ◆ イベント（遠足、キャンプ、農業体験、火おこし体験、料理教室など）
- ◆ 学習支援（学力支援、フリースクール、不登校支援など）
- ◆ 普段とは違う時間帯の開催（朝食・夕食の提供など）
- ◆ 文化活動（音楽、アート、料理教室、和太鼓など）
- ◆ より幅広い地域交流（多世代交流、外国籍との連携、保護者との交流など）
- ◆ 運営改善（開催頻度の増加、周知強化、常設化、ボランティア募集など）
- ◆ 企業とのつながり作り
- ◆ ひとり親等の支援・不登校支援

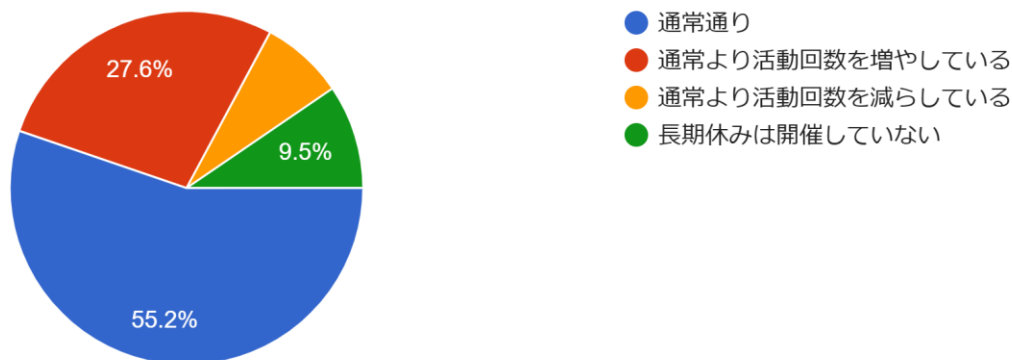
第2章

こども食堂の活動について

長期休み中のこども食堂

長期休み（夏休み・冬休み・春休み・ゴールデンウィーク等）の開催頻度について教えてください。

105 件の回答



こども食堂が長期休みに実施している活動はありますか？

◆イベント

お楽しみ会、夏祭り、キャンプ、ワークショップ、コンサートなど

◆食事提供

通常のこども食堂、お弁当、そうめん、かき氷、バーベキューなど

◆物品配布

食材提供、フードパントリーなど

◆学習支援

宿題、自習、自由研究など

長期休み中は、いつもと違うイベントを開催するこども食堂もあります。お祭りやワークショップといった「イベント」を開催しているという回答が特に多く、その季節に合わせた食事を提供するなど、創意工夫をしながらこども食堂を開催されています。

こどもとの関わり

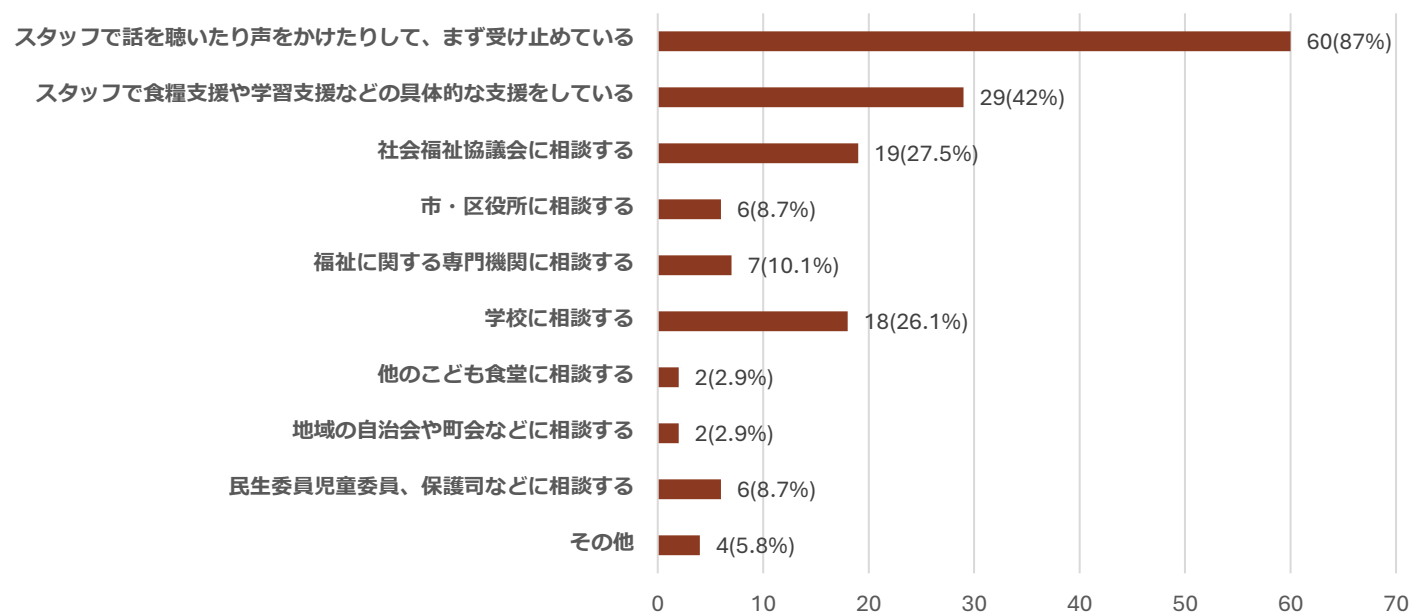
こども食堂では、食事や遊びを通して、こどもたちと様々に関わられています。

こどもたちからどのような声（意見、考え、悩み）を聴いていますか。（63件の回答）

- **学校・学習**（学校の様子、勉強の悩みなど）
- **家庭・家族**（家庭環境、親との関係、育児など）
- **食事・メニュー**（食べたいもの、献立、食事の悩みなど）
- **進路・将来・就職**（進学について、将来のことなど）
- **友人関係**（友達との関係、部活のことなど）
- **精神的な悩み**（不登校、孤立、引きこもり、心のしんどさなど）
- **感想・雑談**（楽しい、嬉しいという感想など）
- **その他**（こどもと会議を開催してニーズを確認しているなど）

日常の何気ない会話から、勉強のことや家のことまで、様々な回答がありました。こども自身に関わる悩みなどを、こども食堂の方に打ち明けているこどももいるようです。また、食事メニューやこどもたちの希望を聞き、活動の参考にしていくこども食堂もあります。

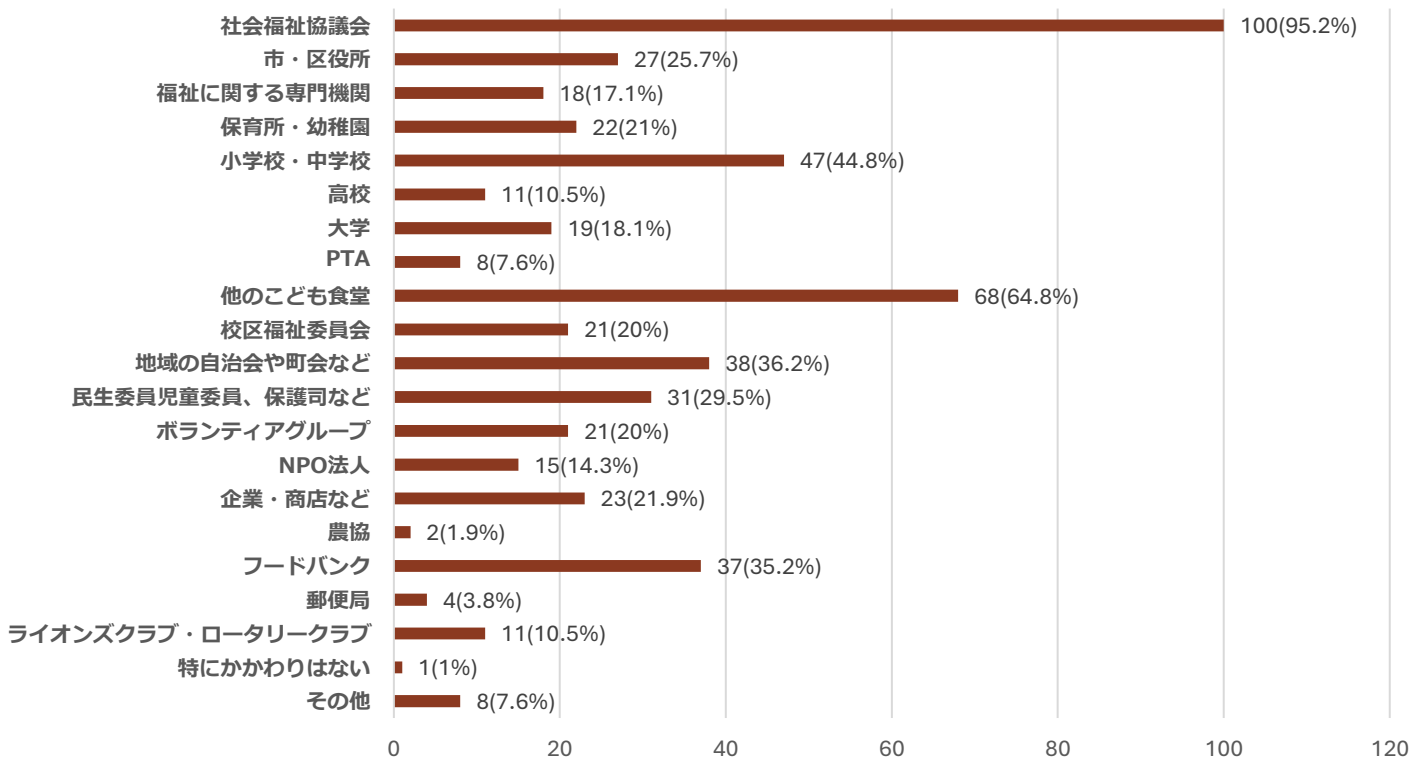
こども食堂に「なんとなく心配だな」「なんとなく気になるな」と思う参加者がいた場合、どのような対応をしていますか【複数回答可】（69件の回答）



多くのこども食堂が、気になるこどもに対して「スタッフで話を聴いたり声をかけたりして、まず受け止める」という対応をされています。また、42%のこども食堂では、「食糧支援や学習支援などの具体的な支援」が行われています。その次に「社協に相談する」という回答が多くなっています。具体的な支援ではなくても、こども食堂でご飯を食べたり、遊んだり、話をしたり、こども食堂の方などに関わる大切な経験が、こどもたちの豊かな成長につながっています。

他の団体や機関との関わり

こども食堂の活動の中で、他の団体や機関などとの関わりがありますか【複数回答】
(105件の回答)



今後関わってみたい団体や機関

◆学校関係

小学校・中学校・高校・大学・PTAなど

◆企業・商業

企業、商店、コンビニ、農家など

◆福祉・相談機関

福祉専門機関、児童相談所、保健所など

◆他のこども食堂・関連団体

こども食堂ネットワークなど

◆行政・公共機関

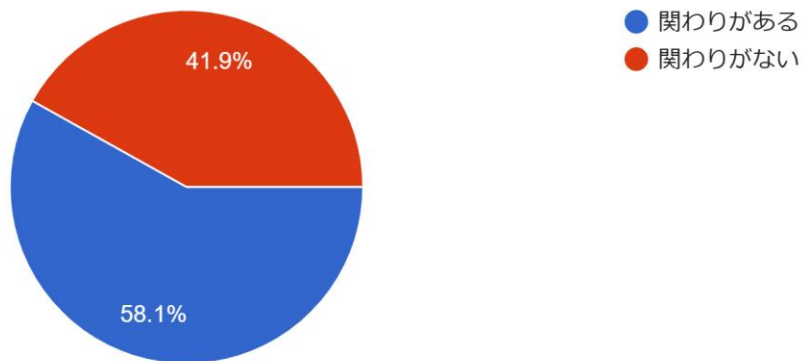
堺市、区のセンターなど

◆その他団体

大学、文化振興財団、漁港組合など

現在、小学校との関わりについて

105 件の回答

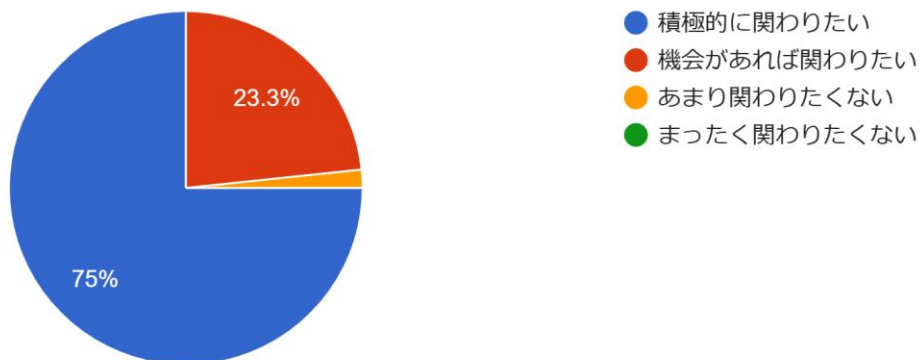


- 関わりがある
- 関わりがない

○関わりがあると答えたこども食堂

小学校と関わりたいと考えていますか

60 件の回答

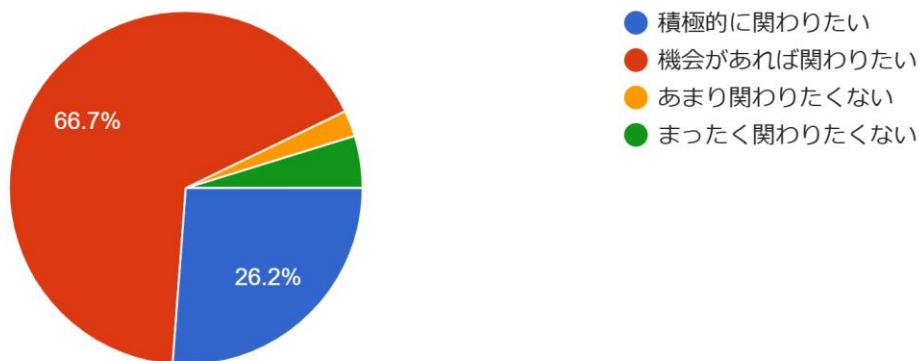


- 積極的に関わりたい
- 機会があれば関わりたい
- あまり関わりたくない
- まったく関わりたくない

○関わりがないと答えたこども食堂

小学校と関わりたいと考えていますか

42 件の回答



- 積極的に関わりたい
- 機会があれば関わりたい
- あまり関わりたくない
- まったく関わりたくない

現在、小学校と関わりがあると答えたこども食堂は、約58%でした。また、小学校と関わりたいと考えているこども食堂（積極的に関わりたい・機会があれば関わりたいと回答）は、現在の小学校との関わりの有無に関わらず、9割を超えています。

小学校と関わってよかったことやエピソード

参加者増加・周知効果

- ・地域や学校での周知によって、問い合わせや新規利用者が増えた。

情報共有・相談

- ・気になる子どもが居た際に、可能な範囲で情報共有ができること。

安心感・信頼

- ・子どもたちが安心する。学校が協力してくれることによって、保護者への安心感がある。

人的交流・協力

- ・運動会後に先生と子どもたちが食べに来てくれた。
- ・校長先生が色々とお気遣いしてくれてそれだけでありがたい。

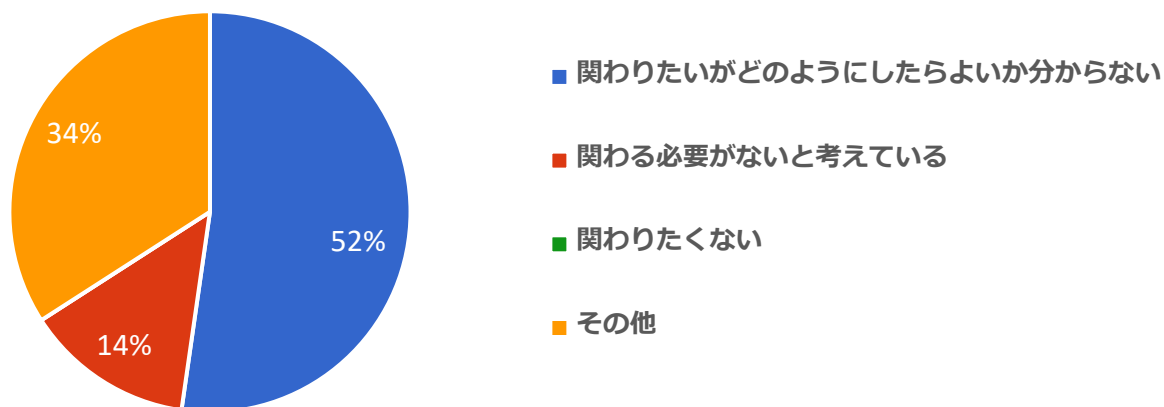
子どもとの交流・成長

- ・子ども食堂に来るようになって子どもの様子はどう変わったかなど、教えてもらえるときは嬉しい。

物品・場所提供

- ・フードドライブで、食材を寄付してもらった。
- ・場所の提供。

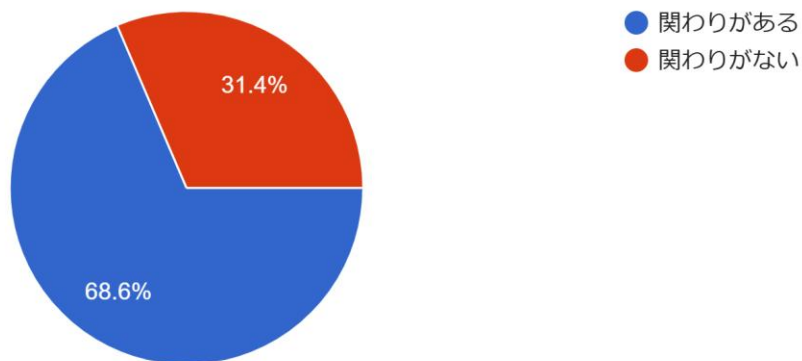
小学校と関わりがない理由をお聞かせください。（43 件の回答）



小学校と関わりがない子ども食堂の約半数が、「関わりたいがどのようにしたらよいか分からない」と答えています。アンケート結果でも示されましたが、学校との関わりを意識している子ども食堂は多いです。学校と、子ども食堂という地域の居場所がつながることは、地域で育つ子どもたちやその保護者にとって、より深い安心感につながると考えられます。

地域の自治会や町会などとの関わりはありますか。

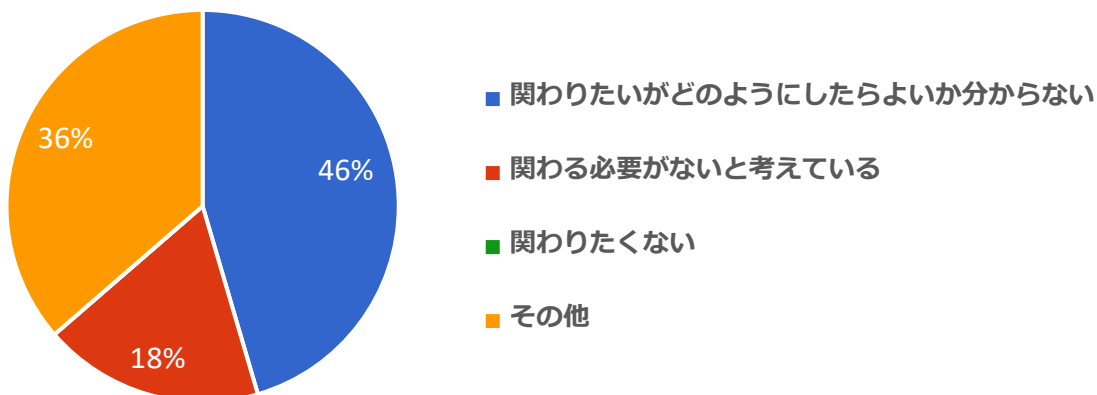
105 件の回答



地域の自治会や町会などとのどのような関わりがありますか。

- ・ **イベント協力**（祭りへの協力・出店、共催イベントなど）
- ・ **チラシ・広報協力**（チラシの掲示・配布、回覧板、広報誌への掲載など）
- ・ **場所・物品提供**（地域会館、駐車場、備品の貸出など）
- ・ **人的交流・参加**（ボランティア、イベントへの参加など）
- ・ **助成金・資金支援**（助成金、寄附など）
- ・ **情報共有・相談**（情報交換、相談、取り次ぎなど）
- ・ **自治会所属・会議参加**（自治会組織への参加、会議出席、役員活動など）
- ・ **地域づくり・コミュニティ形成**（地域資源の活用、居場所づくりなどの地域活性化など）

地域の自治会や町会と関わりがない理由をお聞かせください。（32 件の回答）



地域の自治会や町会などとの関わりにおいて、一番多かった回答は、「イベントの協力」でした。多くの自治会や町会は、様々な形でこども食堂を応援されています。また、小学校との関わりに対する回答と同様に、「関わりたいがどのようにしたらよいか分からない」という回答が一番多くなっています。